

山北の未来のために

村上市立山北中学校 3年 齋藤香菜

山北は自然が豊かな所です。山々が広がり、緑に溢れています。季節によって変わる景色はとても綺麗です。笹川流れという海の名所もあり、その海水から藻塩も作られています。他にも、名水百選に選ばれた吉祥清水や、あく笹まき、煮立てもちなど、山北でしか味わえないものもあります。さらに、温泉もあり、老人介護施設にも利用されています。

しかし、山北は今、少子高齢化が進み、都会へ出て行く人も増えて、人口が減っています。山北にはこんなにも良い所があるのに、何故でしょう。

私は山北に住んでいて、少子高齢化をととても実感しています。私の住む集落にいる中学生以下の子どもは、たったの9人です。それに比べ、お年寄りはその2、3倍います。山北全体の子どもの数を考えても、保育園や小学校が次々に合併したうえ、今年度、さんぼく北小学校に入学した生徒は6人と、一学年の人数も、とても少なくなってきました。

学校からの帰り道、バス停から家まで歩いていると、若い人をほとんど見かけません。このように、年がたつにつれ、若い人たちが山北から減っていくのを私は身近に感じています。

山北で少子高齢化が進んでいるのは、就職、進学がもっとも大きな原因だと思います。知り合いの人たちの進学先や就職先を聞くことがありますが、県内でも、新潟市や長岡市の都市部か県外が大半です。実際に私の兄や姉、友達の兄姉もそうです。そもそも山北から通える大学はほとんどありません。

就職の面でも、同じだと思います。周りの友達に、希望をする職業を聞いてみると、イラストレーターやプロ野球選手、薬剤師など、山北では就きにくい職業があります。それを叶えるため、また、収入が安定した職業に就くために、都市部へ行く人が多く、山北に戻ってこないということが起きているのだと思います。

山北に住む同級生は、ほとんどの人が「都会へ行きたい」、「将来は都会に住みたい」と言います。山北は田舎だと思うし、そういう所に住んでいれば、都会にあこがれをもつのはごく普通のことです。

でも、山北にも良いところはたくさんあります。なぜ山北の良いところに、若い人たちは気付けないのでしょうか。または、わかった上でなぜ都会へ行ってしまうのでしょうか。私は、山北に住んでいるから気付いていないのだと思います。私たちにとってはあたりまえのように思えますが、他の所にはない良さも、山北にはたくさんあると思います。しかし、山北に住んでいる若者にはそれよりも都会での暮らしが魅力的に見え、自分の夢を叶えるため、就きたい職業に就職するためにも、都会へ行ってしまふのだと思います。

山北は今、少子高齢化など、様々な問題を抱えています。それを解決するためには、もっと山北の良さをアピールし、知ってもらふ活動が大切だと思います。そして今、山北では「山北出身であることを誇れるような町づくり」というテーマで、いろいろな活動をしています。ふる里の魅力をバスに描き、山北の自慢、自然、人、食、技、生業をアピールするアートフェスタや、パフォーマンスで山北の良さをアピールする「ふるさと山北の夏祭り」などがあります。いろいろな活動で山北中の生徒も参加します。

私たち、山北中の生徒が山北のためにできることは、少ないです。でも大人の人たちが考えてくれたイベントや、活動に参加したり、授業を通じたりして、山北のためにできることや、山北の問題、未来について考えることこそが、とても大切で、やるべきことだと思います。

そして私たちができることを実行し、山北の未来を私たちの手でつくり上げたいです。